

県指定重要文化財(志和町)



非公開

紙本墨書大般若経 (H9.5.19 指定) 大宮神社

この経典はその奥書から、南北朝時代中頃の正平20(1365)年に志芳庄の地頭とみられる天野遠藤が願主となり、大宮神社に奉納したものです。制作時は巻物でしたが、転読しに便利のように現状の折帖に仕立て直されました。本来は600帖ありましたが、現在は17帖が失われています。

南北朝時代の犬般若経は県内でも珍しく、正平という南朝年号からこの地域の領主の動向が伺える貴重な史料です。

市指定重要文化財(志和町)



非公開

懸佛 (S53.11.15 指定) 大宮神社

平安時代に仏が人々を救うために神の姿で現れるという本地垂迹説が生まれ、御神体にも使われる鏡に仏像を描く鏡像が作られ、これが中世の懸佛へと発展しました。

この懸佛は円形の板に銅板を貼り合わせて鏡面を作ったもので、板裏の墨書銘によると、並瀧寺の住職弘範が志芳庄米山城の天野興次のため、大永元(1521)年に大宮神社に奉納したものであると分かり、当時の高度な金工技術を知ることができる資料です。これらの懸佛は、神社仏閣の壁面や神輿に吊り下げられていました。

文化財へのアクセス

※非公開の文化財もありますので、必ずご確認ください。



並瀧寺(志和町志和東)



大宮神社(志和町志和堀)



市中神社(志和町志和堀)  
時報塔(志和町志和堀)



二宮神社(志和町奥屋)



中原神社(志和町志和東)  
生城山城跡(志和町志和東)



明眼寺(福富町下竹仁)

問 合 先

東広島市教育委員会生涯学習部文化課  
TEL:082-420-0977

令和4年3月発行

東広島市の指定等文化財  
志和町・福富町



市重要文化財 並瀧寺本堂

市指定重要文化財(志和町)



大宮神社宮蔵 (H10.3.17 指定)

江戸時代中期の17世紀後期に造られた桁行2.7mの梁間2mの小さな宮蔵ですが、『芸藩通史』にも「宝蔵」と記載されている建物で、この時代の宝蔵建築として貴重です。中には大般若経や五部大乗経といった経典や、懸佛など地域の歴史を物語る貴重な文化財が収められています。

市指定重要文化財(志和町)



非公開

五部大乗経 (H10.3.17 指定) 大宮神社

この経典は室町時代の明德4(1393)年に、禅宗の僧侶無照持光らが志芳庄八幡宮(大宮神社)に奉納した卷子本の経典です。華厳経をはじめ全192巻が存在し、1箱10巻の内箱に入れられて経櫃の中に収められています。五部大乗経は県内においても完全な形で残るものはほとんどなく、経櫃とあわせて大変重要なものです。

東広島市教育委員会

市指定重要文化財(志和町)



銅鐘 (S53.11.15 指定) 市中神社

表面に刻まれた銘文から、この鐘は本来、室町時代の応永14(1407)年に豊前国(現在の福岡県)上毛郡の西光寺に奉納されたものであることが分かります。いきさつは明らかではありませんが、一説にはこの地を支配していた天野氏が持ち帰り、市中神社に奉納したものといわれています。

市指定重要文化財(志和町)



木造獅子狛犬 (H27.4.16 指定) 二宮神社

阿形吽形一對の獅子狛犬像で、角がなく口を開けている右側の像が獅子(阿形)、角があり口を閉じている左側の像が狛犬(吽形)です。どちらも一木造りで、二宮神社が再興されたと伝わる16世紀の製作と考えられています。

県内で高さが70cmを超える木像はほとんど残っておらず、その点も特筆すべきものと言えます。

市指定天然記念物(志和町)



二宮神社のクスノキ (S61. 3.15 指定)

クスノキは生育が良いと巨樹になる常緑樹で、厳島神社の大鳥居にも使われています。この木は幹が地上から6.5mあたりで2つに分かれています。比較的冷涼なこの地でこれほどまでに大きく成長することは大変珍しいことです。

市指定天然記念物(志和町)



中原神社のケヤキ (S61. 3.15 指定)

中原神社のケヤキは、目通幹囲が4.1mという巨樹で、市内では最も大きな木です。幹回りが4mを超えるものは県内でも10株程度しかなく、貴重な樹木です。

市指定史跡(志和町)



生城山城跡 (S53.11.15 指定)

在地領主である志和東天野氏が戦国時代末期頃に築いた山城です。志和盆地の中央にそびえる標高485mの生城山の頂上を中心に東西400mに広がる大規模な城で、8つの郭を持ち、南西側には巨大な石の上に建てられた櫓があったと考えられています。

国登録有形文化財(志和町)



時報塔 (H9. 9. 3 登録)

大正11(1922)年、旧志和堀村の在郷軍人会が時間励行を主唱していることを聞いた同村出身のアメリカ在住者15人が、同国製の鐘を贈りました。この鐘を吊るすために村で建設されたのがこの時報塔です。コンクリート製ですが、石造り風に仕上げられた壁面やアー

ルデコ風の装飾は、味わい深いものがあります。上部の木造部分は、昭和17(1942)年に改造され、サイレンが取り付けられました。

現在もサイレンにより時を告げる塔として機能しており、広く地域で親しまれています。

県指定天然記念物(福富町)



生息地非公開

竹仁のシャクナゲ群落 (S26. 4. 6 指定)

シャクナゲにはたくさんの品種がありますが、中でもこのホンシャクナゲは本州中部以西に見られ、もっとも美しい品種とされています。

普通は渓谷などの崖上に生育していますが、竹仁では広い範囲の雑木林や湿地帯に密生し、大きなものは高さ3mに及ぶ木もあります。花の見ごろは5月下旬です。

国登録有形文化財(福富町)



明眼寺本堂 (H19.12. 5 登録)

宮島大聖院観音堂を造営した宮大工・西谷庄一氏によって昭和13(1938)年に建てられました。正面間口7間、外陣奥行4間で、建築材にはクリやヒノキを使用し、漆や彩色はあえて施さず、白木のぬくもりを大切にしています。内陣正面には尾垂木を入れた組物が施され、名工・西谷氏の独創性が光っています。欄間の森研豪氏の彫刻も見事です。